

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 6年 月 20日

事業所名 てらびあぼけっと馬橋駅前 教室 保護者等数(児童数)            回収数 19 割合 100 %

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	19					
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	19					
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	19					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	19					
適切な 支援の 提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	18	1				初回面談やモニタリングにて、保護者さまとお子さまのご意見に支援計画が合致しているか、今後も確認を続けて参ります。
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	19					
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	19					
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	19					
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4	2	9	4		今後、保護者さまからのご意見を伺いご希望が多ければ検討したいと思えます。
保護者 への 説明 等	10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	19					
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	19					
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	9	2	4	4	送迎の際保護者さまとの意見交換が出来るよう、出来るだけ時間をかけて行っています。	支援の延長として家庭で出来る療育方法も今後はお伝えしていきたいです。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	18	1				現状のお困りごとを職員間でリアルタイムに共有し、今後も対応してまいります。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	16	1	1	1	保護者さまのお迎えの時間に意見交換を出来るだけ長い時間行っております。	お時間を頂いて面談を行った方が良いと感じたら、広くお声かけを行って参りたいと思えます。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2	1	12	4		保護者さまのご希望を確認し実施する予定です。
	16	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	17		1	1		保護者会やご自宅での療育の延長を行い、さらにご希望者様を募って参ります。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	17	2				
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	17	1		1		月に2回のお便りに加え、ブログやラインも併せて療育内容を公表して参ります。
	19	個人情報の取扱いに十分注意されているか	18			1		全ての個人情報は鍵付きの書庫での保管を行っております。
非常 時 等 の 対 応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	12			7		訓練を行った際、保護者さまへお伝えし周知を広めて参ります。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	10			9		定められた回数の避難訓練・防犯訓練を行っておりますが、さらに頻度を増やし実施して参ります。
満足 度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	19					
	23	事業所の支援に満足しているか	19					

367 11 27 32 84%

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 月 20日

事業所名 てらびあぼけっと馬橋駅前 教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	1		児童数が増えたため狭く感じることもありますので、効率的かつ安全な活動に注意して取り組んで参ります。
	2 職員の配置数は適切であるか	6			
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	3	3	児童が集中して療育に参加出来るよう、特に目立つ位置には装飾など配置しない様心がけております。	今後、支援を行います児童の拡大など環境が変更になった場合、導入したいと思っております。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6		毎朝欠かさず清掃を行っております。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6		朝礼やその日の支援終了後に共有事項の確認を行い、次回療育へ繋げております。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6			
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	1		今回が2度目の公表となります。新たに加わった職員へは公表の必要性和意味を周知して参ります。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	5		
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3	3		虐待防止や療育の向上など、今後も頻度高く研修を行って参ります。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6			
	11 子どもの適応行動の状況を因るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	1		
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6			
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6			
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	5	1		
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6		月別の制作やレクリエーションなど、児童が飽きないよう様々な療育に取り組んでおります。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	6			
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	1		毎朝朝礼での本日の注意事項や伝達、の確認、療育がスムーズに進むための役目の分担を行っております。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	1	その日に気付いた事は当日の支援終了後、共有を行っております。	
19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6				
20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6				
関係機関や保護者	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	2	4		今後、参加していきたいと思います。
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	2	4	基幹支援センターの支援員さんと連携し、相談のある保護者さまのお話を聞いたり支援員さんへの相談をお願いしております。	お困りの方がいらした時は今後もお声かけして参ります。
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		6		現状受け入れが無い状態となっております。
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		6		現状受け入れが無い状態となっております。
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	1	5		現状は行っておりませんが、今後は実施を検討したいと思っております。

保護者との連携	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		6		現状は行っていませんが、今後は実施を検討したいと考えています。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	4		電話でのご相談など行っておりますが、直接参加しての講習会なども参加したいと思っております。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		6		公園での関わり合いや交流会への参加を検討中です。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		6		現在ご挨拶など実施中、今後も継続して参ります。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6			
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	3	3		支援の延長としてご家庭でのお困りごとに対しては、教室で使ったプリント等同じものをお渡ししお使いいただいております。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6			
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6			
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	1		
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		6		保護者さまのご都合に合わせて、今後保護者会など開催予定です。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6			
非常時等の対応	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6			お便りを定期発行しています。内容を発展させより良いものにブラッシュアップしていきたいと思っております。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	6			
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		6		
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	4	2		訓練実施の回数を増やし、認知と質の向上へ努めていきます。
非常時等の対応	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6			
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6			
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	2		今後食事提供の機会があれば事前に対応したいと思います。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6			
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	1		虐待防止の講習は適宜行っております。新たに加わった職員へも周知を行ってまいります。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	4	2		虐待防止の講習は適宜行っております。新たに加わった職員へも周知を行ってまいります。